

製造業の約3割で海外事業を展開

——県内企業の海外展開についてのアンケート調査——

県内企業の海外展開について、アンケート調査を実施した（7月中旬実施。対象企業929社、回答企業250社、回答率26.9%）。

海外拠点の設置状況

海外における生産や販売拠点など事業所の設置状況については、「すでに設置している」とするところが14.8%、「設置していないが、今後設置したい」が3.8%、「今後検討したい」が5.9%、「設置は考えていない」が75.5%となった。

製造業では「すでに設置している」が29.5%、「設置していないが、今後設置したい」が6.3%、「今後検討したい」が12.6%、「設置は考えていない」が51.6%となり、3割近くの企業がすでに海外拠点を有している。

一方、非製造業では「すでに設置している」が4.9%に対して「設置は考えていない」が91.5%となり、「考えていない」とするところがほとんどである。

海外での生産・販売拠点などの設置状況

単位：%

	全産業	製造業	非製造業
すでに設置している	14.8	29.5	4.9
設置していないが、今後設置したい	3.8	6.3	2.1
今後検討したい	5.9	12.6	1.4
設置は考えていない	75.5	51.6	91.5

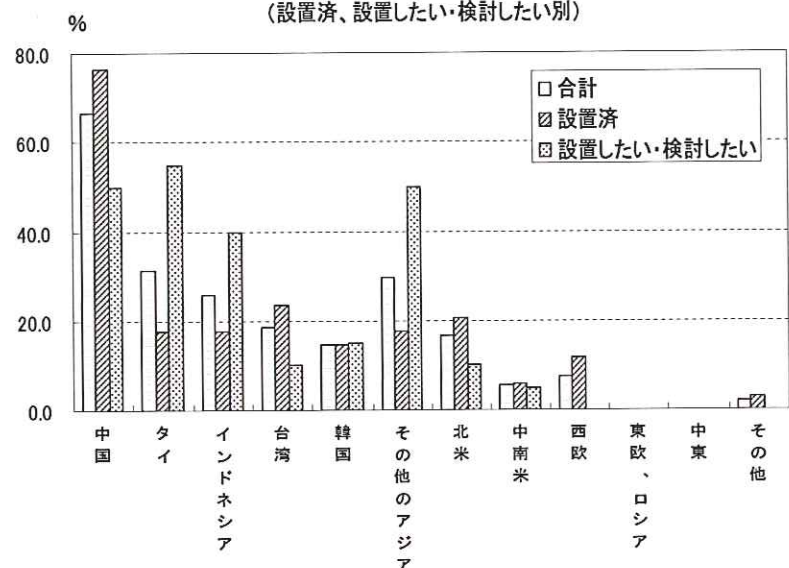
海外展開を行っているまたは検討している国、地域

海外での拠点を「すでに設置している」、「今後設置したい」、「今後検討したい」とした企業で「海外展開を行っているまたは検討している国、地域」については、「中国」が最も多く66.7%、「タイ」が31.5%、「インドネシア」が25.9%とアジア地域が上位3国を占めた。アジア地域では「台湾」18.5%、「韓国」14.8%が続く、「その他のアジア」も29.6%と高い比率となった。アジア地域以外では「北米」16.7%、「中南米」5.6%、「西欧」7.4%となった。

「すでに拠点を設置している」企業では、「中国」（76.5%）の比率が高い。一方、「今後設置したい・検討したい」とする企業では「中国」が50%に低下しているのに対し、「タイ」（55.0%）、「インドネシア」（40.0%）、「その他のアジア」（50.0%）などが高くなっており、海外進出先が今後成長が期待される国にシフトしていることがうかがわれる。

（注：本アンケートでは「設置済」とした企業に対しても、「設置済または検討している国、地域」として聞いているため、「設置済」とする企業の回答した国、地域には今後の検討対象の国、地域を含んでいる）

海外展開を行っているまたは検討している国・地域
（設置済、設置したい・検討したい別）



事業の海外展開について

生産・販売拠点などの海外展開について、県内企業へのアンケート調査を実施した(対象企業929社、回答企業数250社、回答率26.9%)。

(1) 海外拠点の設置状況

海外における生産や販売拠点など事業所の設置状況については、「すでに設置している」とするところが14.8%、「設置していないが、今後設置したい」が3.8%、「今後検討したい」が5.9%、「設置は考えていない」が75.5%となった。

業種別では製造業では「すでに設置している」が29.5%、「設置していないが、今後設置したい」が6.8%、「今後検討したい」が12.6%、「設置は考えていない」が51.6%となり、3割近くの企業がすでに海外拠点を有している。

一方、非製造業では「すでに設置している」が4.9%に対して「設置は考えていない」が91.5%となった。非製造業ではチェーン展開している飲食業や小売業などで海外拠点を有する企業もあるが、現状需要が国内中心のところが多く、海外展開については「考えていない」とするところがほとんどである。

	全産業	製造業	非製造業
すでに設置している	14.8	29.5	4.9
設置していないが、今後設置したい	3.8	6.3	2.1
今後検討したい	5.9	12.6	1.4
設置は考えていない	75.5	51.6	91.5

(2) 海外展開を行う理由

海外拠点を「すでに設置している」、「今後設置したい」、「今後検討したい」とした企業の海外展開を行う理由は、「海外市場の開拓」73.7%、「海外進出した取引先からの受注確保」54.4%、「人件費をはじめコストダウン」47.4%、「海外情報の収集」15.8%、「為替レート変動への対応」10.5%、「法人税対策」3.5%となった。

業種別ではいずれも「海外市場の開拓」(製造業71.1%、非製造業83.3%)が多いが、「海外進出した取引先からの受注確保」(製造業60.6%、非製造業33.3%)および「人件費をはじめコストダウン」(製造業55.6%、非製造業16.7%)が製造業で非製造業に比べ高い割合となっている。

また、海外展開を行う理由を「すでに設置済」とした企業と「今後設置したい・今後検討したい」とした企業の別にみると、「今後設置したい・今後検討したい」とする企業で、「海外市場の開拓」（90.9%）や「人件費をはじめコストダウン」（54.5%）が「すでに設置済」とする企業に比べ割合が高いのが目立っている。一方、「すでに設置済」の企業では「海外進出した取引先からの受注確保」（58.8%）が「今後設置したい・今後検討したい」企業より割合が高くなっている。

	全産業	製造業	非製造業
海外市場の開拓	73.7	71.1	83.3
海外進出した取引先からの受注確保	54.4	60.0	33.3
人件費をはじめコストダウン	47.4	55.6	16.7
海外情報の収集	15.8	13.3	25.0
為替レート変動への対応	10.5	13.3	0.0
法人税対策	3.5	4.4	0.0
その他	7.0	4.4	16.7

	全体	設置済	設置したい・検討したい
海外市場の開拓	73.7	64.7	90.9
海外進出した取引先からの受注確保	54.4	58.8	45.5
人件費をはじめコストダウン	47.4	44.1	54.5
海外情報の収集	10.5	11.8	9.1
為替レート変動への対応	15.8	17.6	13.6
法人税対策	3.5	0.0	9.1
その他	7.0	8.8	4.5

(3) 海外展開を行っているまたは検討している国、地域

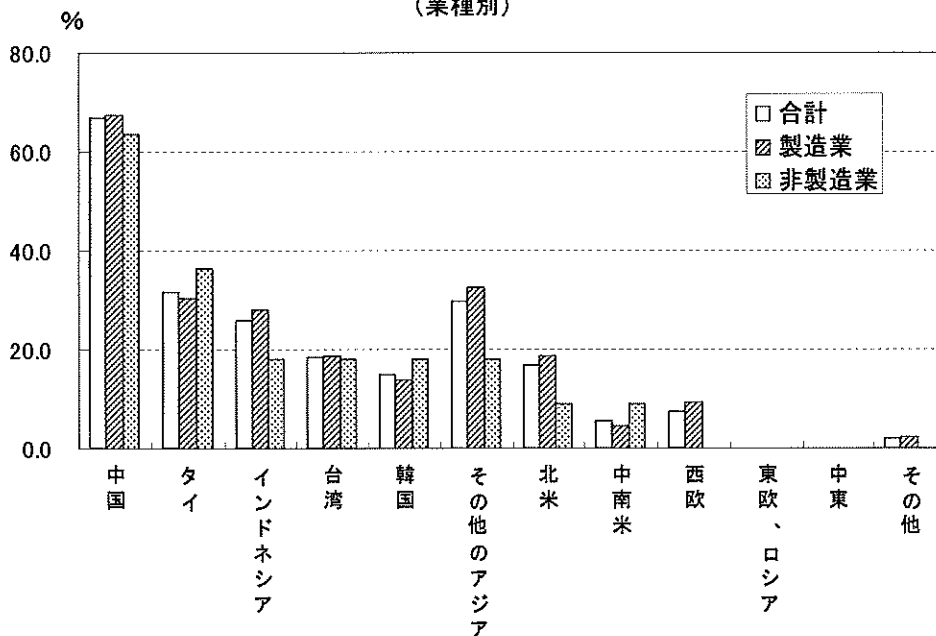
海外での拠点を「すでに設置している」、「今後設置したい」、「今後検討したい」とした企業で「海外展開を行っているまたは検討している国、地域」については、「中国」が最も多く66.7%、「タイ」が31.5%、「インドネシア」が25.9%とアジア地域が上位3国を占めた。アジア地域では「台湾」18.5%、「韓国」14.8%がこれに続き、「その他のアジア」も29.6%と高い比率となった。アジア地域以外では「北米」16.7%、「中南米」5.6%、「西欧」7.4%などとなった。

業種別にみても上位3国は同じで、業種にかかわらず、アジアにおける拠点設置、また今後の関心が高い。

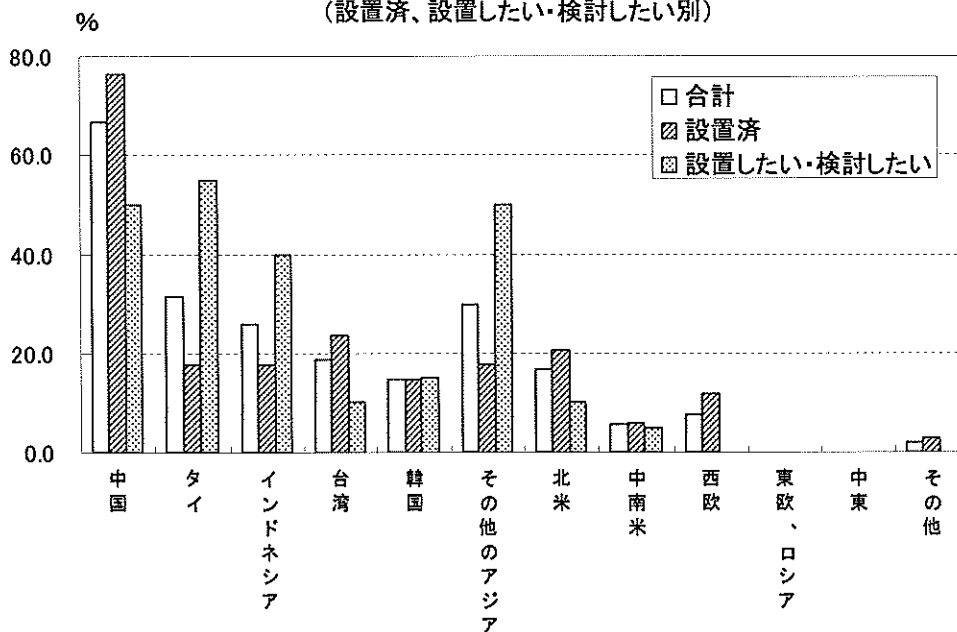
「すでに拠点を設置している」企業では、「中国」（76.5%）の比率が高い。一方、「今後設置したい・検討したい」とする企業では「中国」が50%に低下しているのに対し、「タイ」（55.0%）、「インドネシア」（40.0%）、「その他のアジア」（50.0%）などが高くなっており、海外進出先が今後成長が期待される国にシフトしていることがうかがわれる。

（注：本アンケートでは「設置済」とした企業に対しても、「設置済または検討している国、地域」として聞いているため、「設置済」とする企業の回答した国、地域には今後の検討対象の国、地域を含んでいる）

海外展開を行っているまたは検討している国・地域
(業種別)



海外展開を行っているまたは検討している国・地域
(設置済、設置したい・検討したい別)



別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業の 占める比率 (%)
全 産 業	929	250	100.0	90.4
製 造 業	296	97	38.8	94.8
食 料 品	21	6	2.4	100.0
織 維	12	4	1.6	100.0
化 学	19	12	4.8	83.3
窯業・土石	11	2	0.8	100.0
鉄 鋼	8	1	0.4	100.0
非鉄金属	11	5	2.0	100.0
金属製品	34	13	5.2	100.0
一般機械	31	5	2.0	100.0
電気機械	31	14	5.6	92.9
輸送機械	28	11	4.4	81.8
精密機械	19	3	1.2	100.0
木材・木製品	10	3	1.2	100.0
パルプ・紙	12	3	1.2	100.0
印 刷	18	4	1.6	100.0
その他製造	31	11	4.4	100.0
非 製 造 業	633	153	61.2	87.6
卸 売	78	22	8.8	100.0
小 売	137	28	11.2	67.9
建 設	93	24	9.6	100.0
不 動 産	42	14	5.6	92.9
運輸・倉庫	31	14	5.6	100.0
電気・ガス	10	2	0.8	50.0
情報通信	11	5	2.0	100.0
飲 食 店	57	10	4.0	80.0
サ ー ビ ス	174	34	13.6	82.4